



男女共同参画・女性活躍
担当大臣会合 in 日光市
6月24日(土)
25日(日)
開催

G7タイムズ

シリーズで ^{ジーセブン}G7 関係閣僚会合開催に関する情報や、男女共同参画・女性活躍の推進に関するトピックスを紹介していきます。

くわしくは 総合政策課 G7関係閣僚会合推進係 ☎0288-21-5131

「G7サミット」「関係閣僚会合」ってなに？

G7サミット(主要国首脳会議)は、フランス・アメリカ・イギリス・ドイツ・日本・イタリア・カナダの7カ国と欧州連合(EU)の首脳が集まり、地球規模の課題について意見交換する、国際会議のことで、今年の5月に広島市で開催されます。

サミットの首脳会議の前後には、15の関係閣僚会合が開催され、6月24・25日に日光市で、日本初となる「男女共同参画・女性活躍担当大臣会合」が開催されます。

男女共同参画・女性活躍担当大臣会合では何が話し合われるの？

国際社会が直面するさまざまな男女共同参画・女性活躍に関する課題について意見交換を行い、コンセンサス(意見の一致・同意)を図ります。

G7関係閣僚会合開催に向けた推進協議会・日光市の取り組み

栃木県と日光市は会合の成功に向けて「G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合推進協議会」を設立しました。

また、日光市でも機運醸成を図るために、今後さまざまな事業を展開します。

会合開催に向けた主な催し

※詳細は次号以降の広報紙で紹介

▶5月～6月

女性をテーマにした映画の上映会

▶5月～7月

G7参加国のグルメを市内飲食店で提供する食のイベント

▶5月下旬

会合30日前イベント(こども未来サミットなどを開催予定)

▶6月

G7参加国の料理を小中学校の給食で提供

▶6月5日

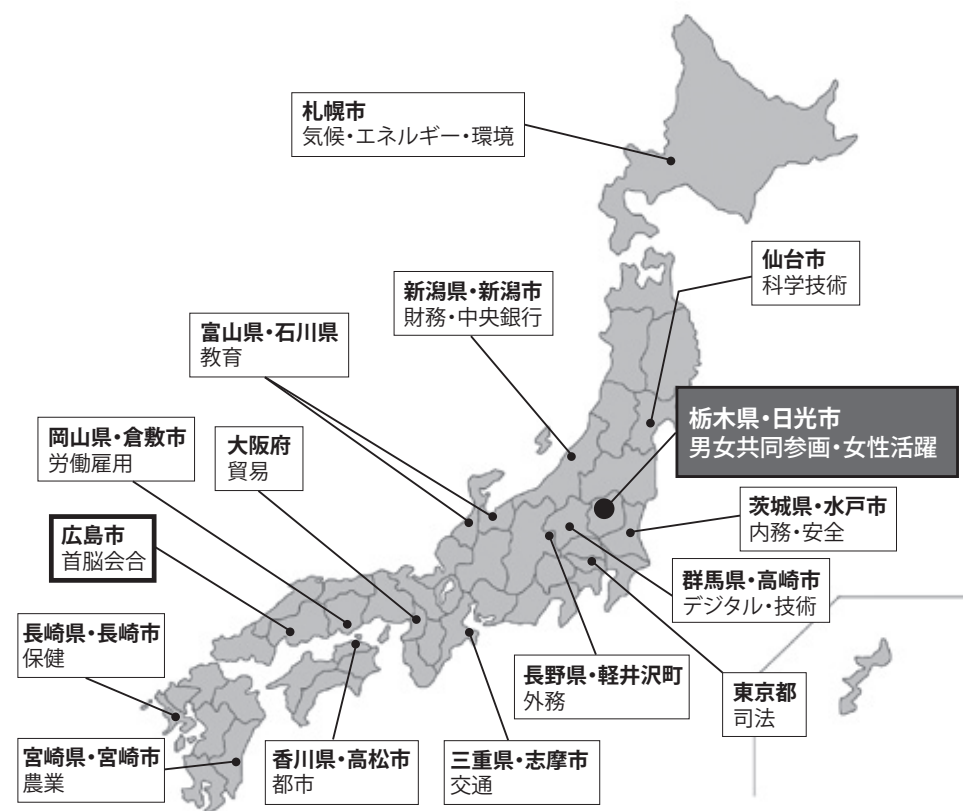
市内小中学生の代表が意見交換や、会合会場の見学を実施

▶6月～11月

市内中学校で女性活躍とキャリア教育に関する講話を実施

6月24・25日 本会合開催

全国のG7関係閣僚会合の開催地と会合分野



男女共同参画に関する日本と日光市の現状

世界における日本の順位

2022年(令和4年)の各国の男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数の日本の順位は、146カ国中116位で、前年に比べて4位上昇しました(表1参照)。

日本国内では、労働参加率の男女比や収入の男女格差などの値は改善されていますが、経済分野と政治分野の値が、世界における日本の順位に大きく影響を与えています。

G7議長国として、日本の取り組みが注目されています。

日光市の現状

市は、各種審議会・委員会などへの女性登用促進基準を定めるなど、政策・方針の決定過程で、男女双方の意見を反映させるための取り組みを進めてきました。

その結果、審議会などに占める女性の割合は、県内市町でも上位の数値となっています(表2参照)。

表1：ジェンダー・ギャップ指数2022

順位	国名	値	前年値
1	アイスランド	0.908	0.892
2	フィンランド	0.860	0.861
3	ノルウェー	0.845	0.849
4	ニュージーランド	0.841	0.840
5	スウェーデン	0.822	0.823
27	アメリカ	0.769	0.763
99	韓国	0.689	0.687
102	中国	0.682	0.682
115	ブルキナファソ	0.659	0.651
116	日本	0.650	0.656

表2：令和4年日光市・栃木県・国の現状比較

項目	日光市	栃木県	国
審議会などに占める女性の割合 (市・県：地方自治法第202条の3に該当する付属機関)	36.7% (40%以上、60%以下)	37.6% (40%以上、60%以下)	43.0% (40%以上、60%以下)
議会議員に占める女性の割合	8.3%	13.6%	衆議院：9.9% 参議院：25.8% (ともに35%以上)
自治会長に占める女性の割合	0% (10%)	-	-

※()は令和7年度における国の目標値

G7 Report



G7各国の大使館職員が日光を視察(3月3日)

G7各国の駐日大使館職員が市内を訪れるツアーが行われました。奥日光や二社一寺を視察した後、いちご狩りを体験。自然や歴史、食などを体感し、日光の魅力について理解を深める1日となりました。



駅での非常時対応訓練(2月17日)

警察・鉄道・行政関係が東武日光駅内で不審物への対応訓練を行い、非常時の安全確保を確認しました。



えのもと なつき
榎本 菜月 さん
(榎本建設株式会社)

私は、日中は土木の現場管理業務をして、家では家事育児をしています。男性が多い建設業ですが、現場では職人さんや地域住民への気配りや細やかな対応を意識して業務に取り組んでいます。会社としては、育児・介護休暇制度の整備、時間単位の休暇取得推進などを行っており、すべての社員がワークライフバランスを大切に、身に付けた技術や経験を十分に発揮できる職場環境を目指しています。

また、プライベートでは、日光青年会議所の一員としてまちづくり活動にも取り組んでいます。仲間とともに、日光の未来がよりすてきなものになるよう、情熱を持って、さまざまな活動をしています。仕事との両立は大変ですが、家族とお互いのプライベートも尊重し、サポートし合っています。

今回のG7サミットの開催をきっかけに「男女共同参画」が広く認知され、制度上のものでなく、多くの人が多様性の理解を深めて、男女共同参画がよりあたりまえの社会になることを期待しています。

「あたりまえ」の社会に